

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)  
【単独事業】

市町名	市貝町
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計	
1	市貝町芝ざくらまつり	総事業費	0	235,000	396,679	309,228	381,000	1,321,907
		うち市町支出額	0	200,000	187,528	100,000	300,000	787,528
		うち県交付金	0	0	93,764	50,000	150,000	293,764
2	サシバの里いちかい夏まつり	総事業費	0	0	7,432,273	7,329,218	8,400,000	23,161,491
		うち市町支出額	0	0	2,600,000	3,500,000	4,000,000	10,100,000
		うち県交付金	0	0	1,300,000	1,700,000	0	3,000,000
3	市貝町町民祭	総事業費	0	0	1,887,660	2,117,231	2,614,000	6,618,891
		うち市町支出額	0	0	1,790,525	2,000,000	1,850,000	5,640,525
		うち県交付金	0	0	895,262	1,000,000	1,104,738	3,000,000
4	都市農村ふれあい交流事業①	総事業費	0	0	27,796	36,380	100,000	164,176
		うち市町支出額	0	0	27,796	36,380	100,000	164,176
		うち県交付金	0	0	0	18,190	50,000	68,190
5	都市農村ふれあい交流事業②	総事業費	0	0	100,000	101,880	100,000	301,880
		うち市町支出額	0	0	100,000	100,000	100,000	300,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
6	都市農村ふれあい交流事業③	総事業費	0	0	250,000	241,953	250,000	741,953
		うち市町支出額	0	0	100,000	100,000	100,000	300,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
7	都市農村ふれあい交流事業④	総事業費	0	0	110,000	105,989	110,000	325,989
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	100,000	200,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
8	都市農村ふれあい交流事業⑤	総事業費	0	0	0	130,583	150,000	280,583
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	100,000	200,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	235,000	10,204,408	10,372,462	12,105,000	32,916,870
		うち市町支出額	0	200,000	4,805,849	6,036,380	6,650,000	17,692,229
		うち県交付金	0	0	2,289,026	2,968,190	1,504,738	6,761,954

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	市貝町芝ざくらまつり
事業主体の名称	芝ざくらまつり開催実行委員会
代表者の名称	実行委員長 入野正明
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市塙1280
事業主体の概要	団体の目的: 芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会(芝ざくら公園指定管理者)と共同し、うるおいとやすらぎのある快適な地域環境の形成と地域活性化を図るために開催する芝ざくら祭りを円滑に運営することを目的とする。 設立年月日:平成24年10月11日 構成団体:市貝町、芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会、市貝町商工会、市貝町観光協会、全7団体
当該事業に係る地域の現状と課題	市貝町芝ざくらまつりは平成18年よりはじまり、今年度で16回目を迎えた。市貝町最大のイベントとして最盛期は30万人以上の来場があったが、現在は新型コロナウイルス感染症による影響もあり5万人程度の来場にとどまっており、地域の活力が弱くなっている。芝ざくら公園は、本町最大の観光資源であるので、国内からの観光客をはじめ、近年多くみられる台湾からの観光客をリピーターを確保していくことが課題である。また、新規の顧客を得るために効果的なPRも必要である。
事業目的	ホームページやマスコミ、チラシ、ポスター等の広報活動やPRを行い、市貝町が日本有数の「芝ざくら公園」がある魅力的な花の町として、知名度の向上やイメージアップを図り、観光客の増加による経済効果の拡大で観光分野に留まらない地域の活性化を目指す。
事業概要	【令和6年度】(I-d) 芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会(芝ざくら公園指定管理者)と協働し、うるおいとやすらぎのある快適な地域環境の形成と地域活性化を図るため、「市貝町芝ざくらまつり」及び芝ざくら公園の適切な維持管理を行った。 (1)芝ざくらまつり(4/1~4/30) ①町内商店等の模擬店の出店(11店舗) ②町内文化協会団体等ステージイベントの実施(22団体) ③写真コンテストの実施(21作品応募) ④真岡鉄道と連携した観光ツアーの実施(4/20実施、21名参加) ⑤里山保全団体と連携した観光ツアーの実施(参加者なしのため中止) (2)通年事業 ⑤植栽作業など住民ボランティアと連携した公園の維持管理を行った。 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等、とちまるショップやJRの駅等の首都圏で開催されるイベントへの参加や新聞広告の掲載、旅行会社等へ情報提供を行い、町内外からの参加者増加を図る。 【新規性】 1日出店者を募り7店舗が出店した。 里山保全団体との連携ツアーを実施し、他団体との連携を図ったが、参加申込者がおらず、ツアー自体は中止となった。 【令和7年度】 次年度以降も芝ざくらまつり等を開催し、他団体との連携やLRTの活用、ステージイベント、新たな模擬店の出店につながるよ1日出店などを行いながらコロナ禍以前の賑わいを取り戻し、魅力ある町としてのPR、地域活性化に努める。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標2:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 観光入込客数:令和5年:408,736人 令和6年:388,295人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道等と連携した観光ツアーの実施 ⑤近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道等と連携した観光ツアーの実施 ⑤住民ボランティアと連携した公園の維持管理 ⑥里山保全団体と連携した観光ツアーの実施	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道等と連携した観光ツアーの実施 ⑤住民ボランティアと連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等		
事業費	396,679	309,228	381,000	1,086,907	397,000
市町支出金(ソフト事業分)	187,528	100,000	300,000	587,528	300,000
うち県交付金	93,764	50,000	150,000	293,764	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	209,151	209,228	81,000	499,379	97,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	市貝町芝ざくらまつり	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	市貝町補助金
繰越金	209,151	前年度繰越金
雑収入	77	預金利子
計	309,228	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	66,474	0	0	66,474	賞状用紙等
報償費	40,300	0	0	40,300	写真コンテスト賞品
通信運搬費	6,400	0	0	6,400	
保険料	72,800	70,000	35,000	2,800	イベント傷害保険
使用料及び賃借料	10,000	0	0	10,000	看板借地料
広告料	33,000	30,000	15,000	3,000	新聞広告費等
次年度繰越	80,254	0	0	80,254	
				0	
計	309,228	100,000	50,000	209,228	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	サシバの里いちかい夏まつり
事業主体の名称	サシバの里いちかい夏まつり推進協議会
代表者の名称	会長 入野正明
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市塙1280番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 推進協議会は、町民相互の交流の場づくり並びに、町のイメージアップを図るために開催する、サシバの里いちかい夏まつりを円滑に運営することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成24年6月27日</p> <p>・構成員等: 市貝町、市貝町商工会、市貝町文化協会等 全9団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>当町では、平成3年度から「いちかい温泉まつり」という名称で夏祭りを開催していた。しかし、東日本大震災の影響で平成23年度のまつりは中止となり、平成24年度に再開したが、観光入込客数は19,000人～20,000人となっており、観光客の増加・地域活性化につながっていない。</p>
事業目的	<p>子どもから大人まで楽しめるまつりとしてイベントの内容を検討工夫しながら磨き上げ、夏休み最後のお祭りが素晴らしい思い出として記憶に残るようにし、町民の郷土愛の醸成を図るとともに、町外者に夏まつりをきっかけに市貝ファンとなっていたり、知名度の向上やイメージアップにつなげる。単発的なイベントではなく、当町の「もの」や「ひと」に興味を持っていただくきっかけとなり、観光や商工業、農業の活性化につながるイベントを目指す。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】</p> <p>祭り運営のための運営スタッフを募りながら、町ホームページやSNS、情報誌などの各種媒体による情報発信を行うことで、町外からの集客にも努め、関係人口の創出・拡大を図った。</p> <p>【新規性】</p> <p>祭り運営のためのスタッフを募り、祭りの運営に関わりを持つことで夏祭りに愛着を持ってもらった。</p> <p>日時: 令和6年12月21日 17時～18時 会場: 市貝町中央公民館グラウンド</p> <p>①【花火大会】 約5,000発の花火の打ち上げ</p> <p>祭りの協賛者を会場内に掲示し、祭りが多くの方の協力のもと開催されていることを周知した。祭り運営に関心を持ってもらい、町ホームページやSNS、情報誌などの各種媒体による情報発信を行うことで、町外からの集客にも努め、関係人口の創出・拡大を図った。時期が冬場に変更となったため、例年の夏まつりと比べると来場者は減少してしまった。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【令和7年度】</p> <p>次年度以降もサシバの里いちかい夏まつりを開催し、ステージイベントの参加者を募るなどし、祭りを一緒に盛り上げ、郷土愛の醸成、町のイメージアップ、地域活性化を図る。</p>
	<p>基本目標2: 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信</p> <p>観光入込客数: 令和5年: 408,736人 令和6年: 388,295人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	サシバの里いちかい夏まつり ①【ステージイベント】 【花火大会】	サシバの里いちかい夏まつり ①【ステージイベント】 【花火大会】	サシバの里いちかい夏まつり ①第1部【参加型イベント】 ②第2部【ステージイベント】 ③第3部【花火大会】		
事業費	7,432,273	7,329,218	8,400,000	23,161,491	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,600,000	3,500,000	2,600,000	8,700,000	
うち県交付金	1,300,000	1,700,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,832,273	3,829,218	5,800,000	14,461,491	0

市町担当情報

担当課(ループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	サシバの里いちかい夏まつり	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	3,500,000	市貝町補助金
協賛金	3,570,000	夏まつり協賛金
繰越金	237,051	前年度繰越金
雑収入	22,167	預金利子、露天商清掃代
計	7,329,218	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	257,730	250,000	125,000	7,730	ポスター等印刷製本費
通信運搬費	122,132	120,000	60,000	2,132	郵送料等
消耗品費	2,744,454			2,744,454	花火代、消耗品費
委託料	2,986,134	2,980,000	1,440,000	6,134	協賛者掲示板設置委託、警備委託等
手数料	176,624	150,000	75,000	26,624	ゴミ処理手数料等
報償費	100,800	0	0	100,800	出演者謝金
食糧費	40,890	0	0	40,890	関係者弁当代等
次年度繰越	900,454	0	0	900,454	図書券5000円分含む
				0	
計	7,329,218	3,500,000	1,700,000	3,829,218	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	市貝町町民祭
事業主体の名称	市貝町町民祭運営協議会
代表者の名称	会長 入野正明
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市場1280番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市貝町の産業、教育、文化の祭典として、個性豊かな地域づくりの推進のため、総合的なイベントを開催する。</p> <p>・設立年月日:昭和56年11月2日</p> <p>・構成員等:市貝町、市貝町議会、はが野農業協同組合、市貝町商工会等 全12団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>当町においても、近隣市町同様に人口減少、少子高齢化などがあり、担い手不足や地域の衰退が懸念されている。これらを解決、緩和するためには、町民の郷土愛を醸成し定住促進を図ることや町外の方に市貝町を知ってもらい関係人口を増加させ、移住促進が必要である。</p> <p>当該事業は町内外から多くの来場者があり、町内等で活動する各団体が、それぞれの活動PRや特産品・農産物等の販売等を行っており、移住定住促進のきっかけとなる町の魅力を発信できる絶好の機会となっている。</p>
事業目的	<p>町民祭会場での町民や周辺住民の交流や、特産品等の展示販売を通じふるさとへの理解や郷土愛の醸成を図る。また、展示販売体験等のさまざまなイベントを通じ、「町の再発見」により新たな市貝ファンを獲得及び関係人口の増加を目指す。</p> <p>また、町内外から多くの来場者があることから、各団体の活動PRや特産品・農産物等の販売により、移住定住促進を図る。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】</p> <p>日時:令和6年11月24日 9時~14時</p> <p>会場:市貝町中央公民館グラウンド</p> <p>①市貝地区JAまつり:生活資材・農機具小物等の販売、JA食堂(天ぷらうどん・そばの販売)、抽選会等の実施</p> <p>②商工会コーナー:会員企業の逸品販売、リフォーム相談等の実施</p> <p>③酪農組合コーナー:仔牛の体重当てクイズ、堆肥の無料配布等の実施</p> <p>④地産地消コーナー:地元産野菜を使用した軽食の販売の実施</p> <p>⑤その他コーナー:ミニ上棟式、木炭関係PR、健康づくり・介護保険 PR、自衛隊PR、交通安全・消防PR、サシバPRコーナー、移住・定住相談コーナーの実施</p> <p>【新規性】</p> <p>移住・定住相談コーナーを設置し、町内外の方に町の紹介や空き家の紹介、各種補助制度などを紹介し、移住・定住の促進を図った。同日別会場で開催したイベントと行き来できるよう、無料シャトルバスを運行し、イベント間の交流を図った。</p> <p>【令和7年】</p> <p>※翌年度以降も、町の魅力発信や郷土愛の醸成のため、当事業を継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標2:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信</p> <p>観光入込客数:令和5年:408,736人 令和6年:388,295人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー		市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー
事業費	1,887,660	2,117,231	2,614,000	6,618,891	1,868,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,790,525	2,000,000	2,500,000	6,290,525	1,850,000
うち県交付金	895,262	1,000,000	1,104,738	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	97,135	117,231	114,000	328,366	18,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	市貝町町民祭	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	2,000,000	市貝町補助金
雑収入	20,095	預金利子、露天商清掃代
繰越金	97,136	前年度繰越金
計	2,117,231	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	170,180	170,000	85,000	180	イベント用消耗品費
委託料	221,430	220,000	110,000	1,430	花火打ち上げ委託料
報償費	0	0	0	0	
手数料	30,640	30,000	15,000	640	仮設トイレ汲み取り手数料 傷害保険
使用料及び賃借料	1,581,510	1,580,000	790,000	1,510	テント、机、イス、仮設トイレ 借上げ料
次年度繰越	113,471	0	0	113,471	
				0	
				0	
				0	
計	2,117,231	2,000,000	1,000,000	117,231	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	都市農村ふれあい交流事業①
事業主体の名称	サンバの里協議会
代表者の名称	阿部 正紀
事業主体の所在	〒321-3404 市貝町大字続谷1143-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:定住促進</li> <li>・設立年月日:2014年2月</li> <li>・構成員等:会員ほか</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	グリーンツーリズム事業の展開にあたり、サンバの里案内人養成講座を実施してきたが、担い手が思うように確保できないことに加え、案内人の高齢化も深刻化している。
事業目的	持続的な地域の活性化と地域経済の自立化を図るとともに新たな観光の核となるグリーンツーリズムを推進し、サンバの里いちかいの魅力発信、交流人口の増加、さらに定住促進に資することを目的とする。また、地域づくりや自然保護に興味がある方を対象にサンバの里案内人養成講座を実施し、担い手の確保に繋げていく。
事業概要	<p>【令和6年度】(I-d)</p> <p>①都市農村交流促進事業…都市圏などに住む方を対象に田植え、里山の生きもの探し、夏野菜の収穫、稲刈り等と一緒に 行う機会を設ける。SNSやHPにより都市部に向けた事業の周知を図った。</p> <p>②里山保全事業…自然豊かな里山里山を保全するため環境整備(草刈りなど)を実施。</p> <p>③人材育成事業…サンバの里案内人養成講座を実施し、次世代のトコロジスト(案内人)の養成に力を入れ、継続的や里 地里山の保全活動に努めた。</p> <p>④観光まちづくり事業…国指定文化財(入野家住宅)などを中心に、「典型的な田舎の風景」を都市の人に味わってもらい たく、縁側でお茶を飲みながら家主等とおしゃべりを楽しむ縁側めぐり事業を展開。</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>R6の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信</p> <p>地域ブランドとして位置づけられた「サンバの里」内の観光資源を核に、体験や交流を深め、着地型観光を展開する。</p> <p>KPI:自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人(うちサンバの里協議会延べ600人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①都市農村交流促進事業 ②里山保全事業 ③人材育成事業 ④観光まちづくり事業	①都市農村交流促進事業 ②里山保全事業 ③人材育成事業 ④観光まちづくり事業	①都市農村交流促進事業 ②里山保全事業 ③人材育成事業 ④観光まちづくり事業		①都市農村交流促進事業 ②里山保全事業 ③人材育成事業 ④観光まちづくり事業
事業費	27,796	36,380	100,000	164,176	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	27,796	36,380	100,000	164,176	100,000
うち県交付金		18,190	50,000	68,190	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業①	
対象年度	6	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	36,380	
計	36,380	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	22,498	22,498	11,249	0	農業体験用消耗品代
印刷製本費	10,882	10,882	5,441	0	イベントチラシ代
使用料及び賃借料	3,000	3,000	1,500	0	サンバの自然学校使用料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	36,380	36,380	18,190	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	都市農村ふれあい交流事業②
事業主体の名称	富士山保全会
代表者の名称	田中 孝幸
事業主体の所在	〒321-3411 市貝町大字刈生田714
事業主体の概要	・団体の目的:自然環境の維持 ・設立年月日:令和元年頃 ・構成員等:会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	里地里山の保全事業の展開にあたり、担い手が思うように確保できないことに加え、会員の高齢化も深刻化している。また、田んぼや森林の荒廃が進み、サシバが生息できる環境が少なくなっている。
事業目的	耕作放棄地再生や雑木林管理をできないまま放置されていた谷津田をサシバと共存できるように整備し、自然環境の維持に努める。その周辺では、伐採した木材を使い、子どもたちを楽しんでもらえるよう遊具の改修に努める。また、子ども向け動植物観察会など、自然とふれあう事業を展開し、里地里山に興味をもってもらう。
事業概要	【令和6年度】(I-d) ①里地里山整備事業・・・自然豊かな里地里山を保全するため環境整備(草刈りや森林整備)を実施。また、動植物観察会を開催し、里地里山の魅力について体験できる機会を設けた。 ②遊具整備体験事業・・・伐採した周辺森林の木材を再利用し、体験型イベントとして遊具の整備をおこなった。木材に触れることで少しでも森林に興味を持ってもらえるような機会をつくった。  【令和7年度以降】 R6の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI:自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人(うち富士山保全会延べ300人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業	/	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業
事業費	100,000	101,880	100,000	301,880	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金		50,000	50,000	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	1,880	0	1,880	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業②	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自主財源	1,880	
計	101,880	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	10,000	10,000	5,000	0	草刈用替刃
修繕料	5,000	5,000	2,500	0	体験施設修繕
燃料費	6,880	5,000	2,500	1,880	ガソリン代
使用料及び賃借料	80,000	80,000	40,000	0	草刈機等賃借料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	101,880	100,000	50,000	1,880	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	都市農村ふれあい交流事業③
事業主体の名称	いちかい里山クラブ
代表者の名称	小野寺 幸絵
事業主体の所在	〒321-3412 市貝町大字田野辺392
事業主体の概要	・団体の目的: 谷津田の再生 ・設立年月日: 平成27年8月 ・構成員等: 会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	耕作放棄された農地が徐々に増加している。
事業目的	町民と都市の住民がいっしょに町内の貴重な自然環境が残る谷津田の再生及び保護活動をおこなう。また、サシバと人と食の持続可能な社会に向けた有機農業の推進を図るため、有機米の栽培に努める。
事業概要	【令和6年度】(I-d) ①谷津田の再生・・・宇都宮など都市部に住む方と協力して耕作放棄された田んぼの再現を図った。 ②田植え・稲刈り・・・人にも環境にもやさしい有機栽培を都市部の方とおこない都市と農村の交流を図る。また、稲刈後には学校給食に有機米を提供し、子どもたちにも自然農法による環境に負荷をかけない農業の大切さについて知ってもらうことで、里地里山ならではの農業の創出・普及を図った。 【令和7年度以降】 R6の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標: 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI: 自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人(うちいちかい米米クラブ延べ300人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り	①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り	①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り		①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り
事業費	250,000	241,953	250,000	741,953	250,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金		50,000	50,000	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	150,000	141,953	150,000	441,953	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業③	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自主財源	141,953	
計	241,953	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	126,459	50,000	25,000	76,459	草刈用替刃等
燃料費	65,881	50,000	25,000	15,881	ガソリン代
賄材料費	30,613	0	0	30,613	食料代
光熱水費	19,000	0	0	19,000	水道費
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	241,953	100,000	50,000	141,953	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	都市農村ふれあい交流事業④
事業主体の名称	特定非営利活動法人いちかい子育てネット羽ばたき
代表者の名称	永島 朋子
事業主体の所在	〒321-3414 市貝町大字続谷1143-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 里山での農業体験</li> <li>・設立年月日: 平成25年12月</li> <li>・構成員等: 会員ほか</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	市貝町の北部地区は、年々高齢化が進み、同時に子どもの数も減少傾向が続いている。昔、賑わっていた光景は、今ほとんど見られない状況となっている。
事業目的	貴重な自然環境が残る里山で農業体験活動などを通じて、子ども自身が自分らしさを見つけ、大きな世界へ羽ばたけるよう学びの場を提供していく。また、地域のおじいちゃんやおばあちゃんに関わることで社会性や責任、思いやりといった心の情操を養うことを柱に事業を展開していく。
事業概要	<p>【令和6年度】(I-d)</p> <p>①たけのこ掘り及びどろんこ遊び・・・都市部では体験することが難しいイベントを開催。 ②田植え・稲刈り・・・地域と都市部の方々が共同で田植え・稲刈りをおこない都市と農村の交流を図った。 ③ホタル観察会キャンプ・収穫祭・・・夏の夜に幻想的な風景を味わい、環境保全の大切さを学んだ。野外での炊飯など実施。</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>R6の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI: 自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①筍掘り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭	①筍掘り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭	①筍掘り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭		①筍掘り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭
事業費	110,000	105,989	110,000	325,989	110,000
市町支出金 (ソフト事業分)		100,000	100,000	200,000	100,000
うち県交付金		50,000	50,000	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	110,000	5,989	10,000	125,989	10,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業④	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自主財源	5,989	
計	105,989	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	75,180	70,000	35,000	5,180	イベント用消耗品費
広告費	30,809	30,000	15,000	809	イベント用チラシ
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	105,989	100,000	50,000	5,989	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	都市農村ふれあい交流事業⑤
事業主体の名称	Forestry Japan株式会社
代表者の名称	櫻井 昌三
事業主体の所在	〒321-3423 市貝町大字市塙2301-3
事業主体の概要	・団体の目的: 森林とのふれあい ・設立年月日: 令和5年9月26日 ・構成員等: 会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	森林の保全にあたり、担い手が思うように確保できないことに加え、森林所有者の高齢化も深刻化している。また、田んぼなど荒廃が進み、サシバが生息できる環境が少なくなってきている。
事業目的	林業の仕事に携わる担い手の確保に繋げるため、子どもたちにチェーンソーを使用した木材の加工など普段体験できないイベント等を開催し、木は人の暮らしに欠かせないものということを学ぶ機会としたい。
事業概要	【令和6年度】(I-d) ①チェーンソーを使用した立木伐倒体験及び丸太の玉切り体験・・・子どもの興味・関心、学ぶ理由、目標など実体験を踏まえて、それらを高めるためのきっかけを創出した。 ②薪づくり体験・・・薪づくりという体験を通して、多くのことに自然と気付いたり、五感を使って様々なことを感じ取ったりできるような特色のある事業を展開。 【令和7年度以降】 R6の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標: 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI: 自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①チェーンソーを使用した立木伐倒体験及び丸太の玉切り体験 ②薪づくり体験	①チェーンソーを使用した立木伐倒体験及び丸太の玉切り体験 ②薪づくり体験		①チェーンソーを使用した立木伐倒体験及び丸太の玉切り体験 ②薪づくり体験
事業費		130,583	150,000	280,583	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)		100,000	100,000	200,000	100,000
うち県交付金		50,000	50,000	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	30,583	50,000	80,583	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業⑤	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自主財源	30,583	
計	130,583	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	88,399	83,170	41,585	5,229	林務用ヘルメット、チェーンソー防護服等
保険料	16,830	16,830	8,415	0	保険代
賄材料費	25,354	0	0	25,354	食料代
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	130,583	100,000	50,000	30,583	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合